

859 中央大学学術講演会

〔『法学新報』第35巻7（402）号 大正14年7月1日〕

○中央大学学術講演会 六月二十一日午後一時第八号教室に於て学術講演会を催せり時正に暑熱加ふるに休日なるに拘はらず聴衆数百講師瀧精一博士「現代の芸術」なる題下に翻訳芸術以外何等自国のものを持たざる国民ほと憐むべきもの無しと冒頭して東西古今の例証に拠りて我国の現代芸術を批評し外国と接触せる明治維新前後に於ての我芸術はすへて過去の精神を喪ひて纔に其形骸を模倣維持しつつありしに当り西洋より全く系統を異にせる生氣ある芸術の渡来するに接し社会の上下翕然として之を渴仰し唯後れざらんことを懼るるの趣ありしか此芸術を受け入るるに当りて各人は各自の感興を基として極めて狭き範圍より彼地のものを受け取り広く深きを意とせさりき旧来の我芸術を伝ふるものは此新来の機運に遭遇するも毫も之に注意することなく高く城壁を設けて自ら新らたにするの識見なく互に専門を設けて拮抗し彫刻家といふも木石牙金の一を取扱ふことを知りて他の材料を顧みず絵画を描くといふも油絵土佐四條狩野と各一派を専攻して指を他の流派に染めず況んや建築家か音楽を解し画家か文学に通するか如きに至りては到底望むべき所に非ず此通弊は独り芸術に於てのみ視る所にあらず一般の社会学問等にも亦然るを免かれず芸術家のみを責むるは或は酷に失

するやも知れずと雖とも芸術はかかる狭義に於て取扱はるべきものに非ざるべく古来の名家といはるるものを視れば何れも数多の方面に卓絶して一方に覇たるもの少なからずレオナルドダウインチの如き本阿彌光悦の如き単に一技に長したるのみに非ざるなり人素より天分あり或は及はざるものあるを免れずといへとも努力して其技能を發達せしめ之を芸術として表現すべきなり今日の画家の僅に自己の落款を書する程度に於て書道に通ずるかは実に恥つべきに至りといふべきなり吾人常に芸術に因りて立つの士に向ひて此言を呈しつとあるといへとも今日は觀賞の地位に在る諸君に向つて意を此に止むるあらんことを切望す

と
博士壇を下らるるや暫時の休憩をなし其間に次席の講師か携へ来られし図表等を壁間に掲げ次いで海軍造船部長兼帝国大学教授海軍少将平賀讓博士は『華府会議前後の軍艦』なる題下に極めて専門的なる活材を予備知識の比較的豊富ならざる聴衆に向ひて極めて平易に而も学術的に説示せらるること約三時間船体の安定航行機関船体と航行速度の關係より始めて軍艦と商船との主要なる差別点等を理論と壁上の図表とに由りて説明し軍艦の攻撃力防御設備より航空機よりする攻撃力に及び航空機より投下する爆弾等の穿鋼力不足なるか為め航空機の主なる作業は偵察若くは潜水艇及び沈没物の発見等に在るべきを説き最近数次の海戦の実蹟に照らして海軍の主力は戦艦に在りて其航走力と攻撃防御設備との關係につき造艦技術者の苦心を述へ我国の造艦業は薩摩安芸の建造を期として外国依頼の旧習より脱出

し最近華府会議の大問題となれる二艦の如きは尽く我国の技術に由りて建造せられ長門か世界の大問題となりしは単に噸数の問題に非ず其性質か各国の注目を要するものなりしに由るを説き技術者の立場よりすれば今日は正に五、六万噸級の戦艦を建造し主砲は十八吋乃至二十吋を積載すへき機運に在るへきものにして華府会議は正に此機運を中止せしめしもの其三万五千噸に止めたるはパナマ運河の広さとの關係に基づきたものに非ざるなきを得るかと推し今日我国の建造に係る軍艦は英米の其に比して優れりと云ひ得さるとするも決して劣れるものには非ざるを信すと断し今日は各国争ひて巡洋艦潜水艦の補助軍艦の建造に熱中し我国の建造に係り將に完成せんとしつつある三千五百噸の巡洋艦は正に七千噸の巡洋艦に匹敵すへき戦闘力を備なへ英米の専門家は昨冬以来盛んに問題として研究しつつあるの狀態に在り將來第二回の海軍會議あらは主なる問題は巡洋艦の制限に在るものならんしかも海軍力の制限を説くに当りては優良なる商船の狀態を考量するの要あるを説き華府會議は噸數に於て我海軍を英米の其の六と定めたるも此は船の大きさの上よりの規定にして戦闘力は船の性質に因りて定まるもの此点よりすれば我海軍の実力は米英の七、五位なりとも云ひ得らるるに非ざるか通常我国には彼の長を採りて我の短を補ふとの定説あるか如きもかかる不徹底なる決心にては到底優秀なる艦艇を得らるへきものに非ず理論としては間然する所なきか如きも他国の後とを追従して優力なる海軍を得んとするか如きは實現の期なかるへしと結びて壇を下られたり

此会の講演は近く其筆記を講師の許に提出して其厳正なる批訂を請ひ不日発表の機あるを信すといへとも今其梗概を記して諸君に呈す（委員報）